

## 第十四回病院給食医療研究集会へのご案内

日頃の病院給食充実への努力と奮闘に敬意を表します。

私たち二団体は「直営による病院給食の充実」を中心課題に都内の病院給食の実態調査や調理実習・共通課題での学習会等を行ってきました。

これまでの研究集会の内容

- 1回目 大塚製薬宮下大樹氏の「サプリメントの基礎知識」の講演と職場からのレポート報告、
- 2回目 昭和薬科大学古泉秀夫氏（当時）の「食物と薬の相互作用（くすりの基礎知識）」の講演  
東京大学附属病院栄養管理室佐藤ミヨ室長（当時）の「新厨房での給食管理」の講演、
- 3回目 女子栄養大学給食管理室教授太田和枝氏（当時）に「今、求められる患者給食」と題した講演
- 4回目 東洋大学教授片平洸彦先生（当時）に「どの油をとったら体にいいの？」と題してリノール酸とアレルギーを中心とした講演、
- 5回目 「嚥下食」についてマルハチ村松橋詰昌幸氏の講演、城山病院での嚥下食の実際及び試食会
- 6回目 長野県飯田市健和会病院での嚥下食の実際
- 7回目 癌研有明病院比企直樹先生の「NST(栄養サポートチーム)が今後の医療をどうかえる？」の講演
- 8回目 10年前「病院食事革命」を出版された、金谷節子先生（元聖隷三方原病院栄養科長）の講演。
- 9回目 1回目に続き大塚製薬中元寺祐子氏にサプリメントについて講演。
- 10回目 マルハチ村松から増粘剤や酵素剤の基礎知識と嚥下・介護食の最近の知見と題して講演
- 11回目 ニュートリー青木そのこ氏、イーエヌ大塚製薬松崎淳一氏より嚥下食・摂取回復支援食の講演
- 12回目 フジマックのご協力「スチームコンベクションオープンを十分活用していますか？」
- 13回目 フジマックの「第二弾スチームコンベクションオープンを十分活用していますか？」

など、11回までは講演を中心に行い、12・13回はスチコンの実演講演・試食を行いました。

今年の第十四回病院給食医療研究集会は、

**「新たな嚥下補助技法に対する作業療法士の取り組み（仮）」と**

**「介護食の基準について」** です

咀嚼・嚥下機能の低下した高齢者に対する嚥下食はあらゆる施設で提供されており、見た目もキレイになり年々進化しています。しかし、厨房の調理師の方は患者さんが実際に食事を召し上がっている様子を見る機会は少ないのではないかと思います。

今回は富山民医労富山共立病院 溝口智美氏より作業療法士の目線で、私たちの作った嚥下食をより安全に患者さんに食べていただくための技法や工夫を講演していただき、さらにリハビリスタッフから嚥下食を作っている調理担当者に望む事なども伺います。

また、昨年、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会から発表された「嚥下調整食学会分類 2013」についてマルハニチロ株式会社 儀間詩織氏より詳しく説明していただきます。「嚥下調整食学会分類 2013」はこれまで施設毎にバラバラだった嚥下食の名称や形態に統一基準を作り、施設間で共通に使用するために作成されたものです。

どちらも講演も今後の嚥下食の質の向上に繋がる内容となっています。調理担当者・献立作成担当者含め、皆様の御参加をお待ちいたしております。

以上。

# 第十四回病院給食医療研究集会

日時 2014年11月15日(土)

14時～16時30分 (受付13時30分)

場所 **渋谷区立勤労福祉会館 第1洋室**



参加費 **1000円 (資料代込)**

定員 **70名**

申し込みは同封のFAX用紙に必要事項を記載し送信してください

## 講演名

・ **新たな嚥下補助技法に対する作業療法士の取り組み (仮)**

**溝口 智美 氏 (富山協立病院 作業療法士)**

・ **介護食の基準について**

**儀間 詩織 氏 (マルハニチロ株式会社)**

主催 病院給食医療研究集会実行委員会

問合せ \*東京医労連病院給食対策委員会 (委員長 鶴淵 弘之)

電話 03-3872-7191 Eメール: mail@tokyo-iroren.net

\*病院給食研究会 (元 癌研有明病院栄養科 畠山久夫)

電話・FAX 03-3936-1025 (自宅)

**返信用 FAX 用紙** (FAX 番号 03-3876-3173)

第十四回病院給食医療研究集会に

・ 参加します

お名前 \_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

病院・施設名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

連絡先電話または FAX \_\_\_\_\_

\* 事前に質問等ありましたら記入してください